

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(5)-ア	O I S T等を核としたイノベーション・エコシステムの構築	施 策	②研究成果等の知的財産化・技術移転の推進
			施策の小項目名	○知的財産の創造・保護・活用に向けた普及啓発や地場産業の高度化
主な取組	知的財産保護支援		対応する成果指標	県内からの特許等出願件数（累計）
施策の方向	・ 県内大学等や県立試験研究機関が持つ研究シーズや成果を本県の産業振興に結び付けていくため、知的財産権制度の活用や技術移転を推進するとともに、知的財産の創造・保護・活用に向けた普及啓発や企業ニーズ等を見据えた地場産業の高度化等に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
特許等の知的財産の活用による中小企業等の競争力強化を図るため、専門家指導による知的課題の解決や学校等を中心に知的財産教育を実施する。	県,事業者	中小企業等の知的財産に関する課題解決の利活用促進		
		知的財産の保護支援件数（支援団体数）（累計）		
		3件	3件（6件）	3件（9件）
担当部課【連絡先】	商工労働部産業政策課		【 098-866-2330 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名		知的財産包括支援事業				予算事業名		知的財産包括支援事業	
主な財源		実施方法		R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度			
県単等		委託		13,811	13,715	主な財源		実施方法	当初予算額
県単等		委託		13,811	13,715	県単等		委託	12,877
令和6年度活動内容						令和7年度活動計画			
県内の教育機関及び中小企業等に対し、専門家によるセミナーや相談等を実施する。また、セミナー等の受講中小企業に対し、各機関と連携し助言する。						県内業界団体や中小企業等に対して、知財活用に関する周知広報を行うとともに、課題に応じた活用又は保護支援や情報提供を行う。			
活動指標名		知的財産の保護支援件数（支援団体数）（累計）		R6年度			進捗状況		活動概要
実績値		R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	進捗状況		中小企業等に対し、専門家によるセミナーや相談等を実施した。また、県内の知的人材育成を図るため、教育機関に対し、専門家による講義を実施した。
実績値		3件	6件	8件	3件（9件）	100.0%	順調		
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果									
中小企業等への支援においては、目標支援数3件を達成しており県内の産業財産権の普及・啓発に寄与していることから、事業の進捗について順調と判定した。									
(2) これまでの改善案の反映状況									
令和6年度の取組改善案					反映状況				
○セミナー実施への応募を待つだけでなく、県側でセミナーを企画・開催することで、県内のスタートアップコミュニティに対し、知的財産に関する課題の掘り起こしや保護支援を実施する。					○セミナー等を受講した企業のうち、知的財産に関して課題を有する企業について、専門家への橋渡しをした。また、個別具体的な知財課題を抱える企業に対して、弁理士等を派遣した。				

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	県内企業や支援機関にとって、経営課題における知的財産に関する優先度は高いとはいえず、周知をしたものの支援が活用されないケースもある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	直近では自社商標の未権利化に伴う企業間トラブルが表面化するなどしている。このような事例を各企業に情報共有し知的財産を守るためのセミナーや勉強会を積極的に提案していく。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(5)-ア	O I S T等を核としたイノベーション・エコシステムの構築	施 策	②研究成果等の知的財産化・技術移転の推進
			施策の小項目名	○付加価値の高い製品・技術の開発
主な取組	工業研究の推進		対応する成果指標	県内からの特許等出願件数（累計）
施策の方向	・ 県立試験研究機関については、新たな産業の創出や地場産業の高度化に結び付けるため、産業界や県民ニーズ等を見据えた付加価値の高い製品・技術の開発に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県工業技術センターにおいて県内製造業における技術的課題を解決するための開発支援的な研究をする。	県	県工業技術センターにおいて、県内製造業における技術的課題を解決するための研究		
		県内企業が製品製造に必要となる基礎技術に関する研究件数（累計）		
		5件	5件（10件）	5件（15件）
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課 【 098-866-2337 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名		工業研究費（単独）				予算事業名		工業研究費（単独）	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額			R7年度			
				主な財源		実施方法	当初予算額		
県単等	直接実施	3,336	3,649			県単等	直接実施	3,930	
令和6年度活動内容						令和7年度活動計画			
県内企業が製品製造に必要となる基礎技術に関する研究14件を実施した。						県内企業が製品製造に必要となる基礎技術に関する研究5件を実施する。			

活動指標名	県内企業が製品製造に必要となる基礎技術に関する研究件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	19件	17件	15件	5件（15件）	100.0%	順調	県工業技術センターにおいて県内製造業における技術的課題の解決に資するため、県内企業が製品製造に必要となる基礎技術に関する研究15件を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「県内企業が製品製造に必要となる基礎技術に関する研究件数」の目標値「5件」に対し実績値「15件」であることから、「順調」と判断した。研究で得られた成果は、今後の技術支援業務等で活用される予定。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○研究員の継続的な技術レベルの向上と、大学や産総研との連携による体制の強化を図る。 ○生産性向上のための企業へのIoT導入に係る研究会・講習会等を実施する。	○研究員の資質向上のため、モノづくりの設計工程における自動化に関する研修に研究員を派遣したほか、産総研連携アドバイザー活動を通して産総研と連携している。 ○生産性向上のための企業へのIoT導入に係る研究会を1回、生産性向上セミナーを1回実施した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	県内企業が高付加価値製品を製造できるための基礎研究を実施していく上で、さらなる研究員の資質向上が必要である。また、大学や産総研と連携したより高度な研究に取り組む必要がある。	① 執行体制の改善	研究員の研修への派遣など継続的な技術レベルの向上と、大学や産総研との連携体制を引き続き強化する。
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	人材不足への対応として、製造現場へのデジタル技術導入による生産性向上の動きが活発化している。	⑥ 変化に対応した取組の改善	生産性向上のための企業へのIoT導入に係る研究会・講習会等を実施し、企業へのIoT導入を促す。